

富士重工業株式会社 2010 CSR

Site Report

群馬製作所

本工場

所在地	〒373-8555 群馬県太田市スバル町1-1
土地面積	585,521㎡
建物面積	312,313㎡
従業員数	3,071人
主な生産品目	サンバー、ステラ



矢島工場

所在地	〒373-0822 群馬県太田市庄屋町1-1
土地面積	549,845㎡
建物面積	255,466㎡
従業員数	2,748人
主な生産品目	レガシィ、エクシーガ、 インプレッサ、フォレスター



太田北工場

所在地	〒373-0027 群馬県太田市金山町27-1
土地面積	43,750㎡
建物面積	26,841㎡
従業員数	63人
主な生産品目	自動車用部品



大泉工場

所在地	〒370-0531 群馬県邑楽郡大泉町いすみ1-1-1
土地面積	316,176㎡
建物面積	227,823㎡
従業員数	1,623人
主な生産品目	自動車用発動機、自動車用変速機



伊勢崎工場

所在地	〒372-8508 群馬県伊勢崎市末広町100
土地面積	177,422㎡
建物面積	58,866㎡
従業員数	84人
主な生産品目	自動車用部品



スバル研究実験センター

所在地	〒327-0512 栃木県佐野市
土地面積	1,080,832㎡
建物面積	24,378㎡



トップメッセージ



常務執行役員
群馬製作所長
笠井 雅博

群馬製作所では、豊かな自然を守り次世代に引き継ぐため、環境にやさしいクルマづくりを目指し、「クリーンなスバル」を「クリーンな工場」からお届けするために環境活動に積極的に取り組んでおります。

また、製作所周辺地域や社会と共生し、ともに繁栄していくことが大切であると認識しています。お互いの理解を深める交流会の実施、基金などへの協力、環境関連イベントへの参加を積極的に行っています。

これからも「スバル」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

群馬製作所では、地域社会との共生を通じて、豊かな社会づくりに貢献していくことを目指して、ふれあい行事、交流会、工場見学受け入れ、地域の清掃活動、地域イベントへの協力など、さまざまなかたちで地域の皆さまとのコミュニケーションを図っています。

■ 出前環境教室



6～12月 太田市・邑楽郡大泉町内の全小学校(28校)に従業員が出向き、「みんなで大切な地球をまもろう」をテーマに地球温暖化の原因と対策について実験を交えて説明し、環境問題への理解を深める活動を行っています。本活動は、2004年度に開始し、今回で6年目を迎えています。今後も継続的に実施していく予定です。

■ 富士スバル㈱主催 乗り物教室



7月 富士スバル㈱の主催で、矢島工場・ピシターセンター見学会を一般応募の親子約200名を招待して開催しました。

■ スバル地域交流会主催 金山清掃



5月 スバル地域交流会の主催で、一般市民を含め約600名が参加して太田市内にある金山の赤松林の下草刈りと清掃を行いました。参加者には飲料・タオル・花の苗を配布しました。

■ 「おおた夏まつり」に参加



7月 従業員約580名が参加した「おおた夏まつり」。ほかにも「大泉まつり」「伊勢崎まつり」に多数参加しています。

■ スバル旗争奪群馬県学童軟式野球大会開催



10月 群馬県内各市町村から選抜された20の学童チーム(約400名)による野球大会を開催しました。

■ 「太田市産業環境フェスティバル」に参加



11月 太田市の新田文化会館で開催された太田市産業環境フェアに参加しました。当日は、電気自動車「プラグイン ステラ」を展示し、多数の方からの質問に対応しました。

■ スバルビジターセンター工場見学



年間を通してビジターセンター、工場の見学を受け入れています。2009年度には小学生87,813名(1,074校)、一般の方10,256名の計98,069名の皆さまに見学いただきました。
*見学の申し込み(10~200名)、スバルビジターセンターの詳細については、当社ホームページをご参照ください。



<http://www.subaru.jp/about/showroom/vc/index.html>

教育・啓発活動など

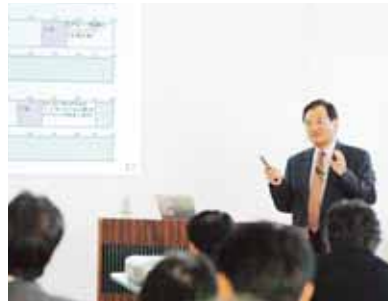
群馬製作所では、職種・階層に応じた教育や訓練をはじめ、交通安全、環境保全などさまざまな教育を実施しています。また、当製作所の従業員だけでなく、関係会社やお取引先支援の一環としての教育や地域の学校などに招かれての講演活動も多数実施しています。

■ 関係会社新入社員向け環境教育



4月 関係会社の新入社員(約100名)を対象に、環境保全教育を実施しました。地球環境保全から当社の環境マネジメントシステムまで幅広い環境知識を習得してもらいました。

■ 学校教頭研修で講演



1月 「第2回東部管内小・中・特別支援学校教頭研修」に当社小塚副所長が招かれ、教頭先生約130名を対象に当社の教育体制などについて講演を行いました。

環境保全の取り組み

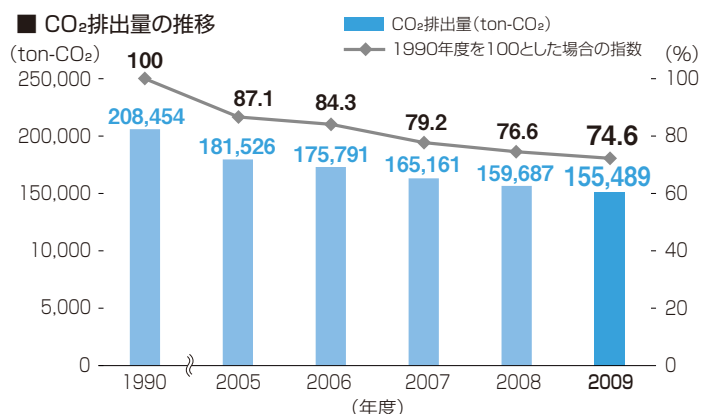
スバル車を製造する群馬製作所では、「クリーンなスバル」を「クリーンな工場」からお届けするためにさまざまな環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

地球温暖化防止への取り組み

CO₂排出量は近5年、減少傾向で推移しています。また、1990年実績比では25.4%の削減を達成しています。

2009年度には、「省エネ ケチケチ活動」の名称で改善アイテムの抽出や省エネパトロールなどを実行し、「きめる、とめる、なおす、さげる」を合言葉に、全員参加で省エネ活動を進めてきました。

今後もさらに、省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止へ寄与していきます。



ゼロエミッションへの取り組み

群馬製作所では2001年3月に、当社のなかで一番早くゼロエミッションを達成しています。

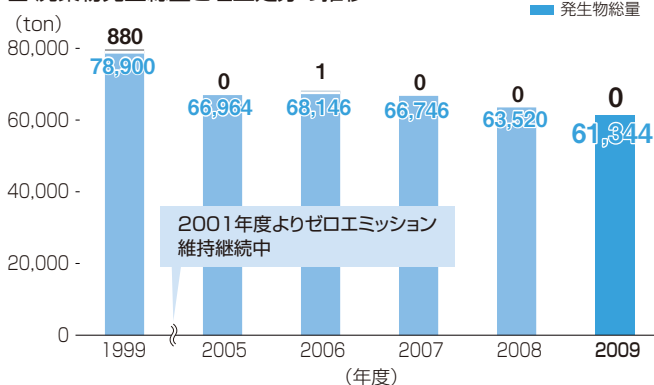
今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に向け努力していきます。

電子マニフェストへの対応

2008年度に電子マニフェストへの対応を試験的に開始しました。

2009年8月からは本格的に導入を開始し、2010年3月現在では、80%以上が電子マニフェストに切り替わりました。

■ 廃棄物発生総量と埋立処分の推移



公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。

しかしながら2009年度には、工場近隣にお住まいの方から臭気に関する苦情を2件受け、所内水路に重油を流出させる構内環境事故が1件発生しました。本件に関する発生状況や是正処置などについては2010 CSRレポート45ページをご参照ください。

今後も、基準値超過を含めてゼロを目標に取り組んでいきます。

2009年度の環境測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁防止法および群馬県条例、太田・大泉公害防止協定、伊勢崎市下水道条例に適合しており、20%上乗せした自主基準値*1もクリアしています。

*1 当社では大気、水質、騒音振動すべての測定結果について、法令基準値に20%上乗せした自主基準値を設定しています。

■ 水質測定結果

本工場:水質汚濁防止法、県条例

項目	規制値 (県条例)	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.8~8.6	6.1~8.3	7.7	7	7.3
BOD	25	20	6.1	0.4	2.7
SS	50	40	9.6	0.9	2.6
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	2.5	0.1	0.6
フッ素	8	6.4	0.8	0.2	0.4
亜鉛	5	4	0.3	0.0	0.2
溶解性鉄	10	8	0.1	0.1	0.1
溶解性マンガン	10	8	0.1	0.1	0.1
全りん	16(8)	6.4	1.8	0.1	0.7
全窒素	120(60)	48	8.5	1.9	4.7
大腸菌	3,000	2,400	440	0	145

【記号】…pH:水素イオン濃度、BOD:生物化学的酸素要求量、SS:水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質
【単位】…大腸菌=個/ml、その他はpH除きmg/l、全りん、全窒素の規制値は日間平均値

大泉工場:水質汚濁防止法、大泉公害防止協定

項目	規制値 (県条例)	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.8~8.6	6.1~8.3	8.0	7.1	7.4
BOD	10	8	7.7	0.5	3.1
SS	10	8	7.4	0.9	4.1
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	3	2.4	1.8	0	0.5
フッ素	8	6.4	0.2	0.2	0.2
亜鉛	2	1	0.3	0.1	0.2
溶解性鉄	5	4	0.1	0.1	0.1
溶解性マンガン	5	4	0.1	0.1	0.1
全りん	16(8)	6.4	0.5	0.2	0.4
全窒素	120(60)	48	7.5	2.1	4.8
大腸菌	1,000	800	16	0	8

矢島工場:水質汚濁防止法、県条例

項目	規制値 (県条例)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.8~8.6	6.1~8.3	7.5	7.2	7.3
BOD	25	20	5.6	2.3	3.9
SS	50	40	4.8	0.9	2.3
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	2.8	0.2	1.4
フッ素	8	6.4	1.2	0.5	0.9
亜鉛	5	4	0.4	0.1	0.2
溶解性鉄	10	8	0.5	0.1	0.3
溶解性マンガン	10	8	0.6	0.1	0.35
全りん	16(8)	6.4	0.4	0.2	0.3
全窒素	120(60)	48	5.7	2.5	4.1
大腸菌	3,000	2,400	360	90	225

北工場:水質汚濁防止法、県条例

項目	規制値 (県条例)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.8~8.6	6.1~8.3	7.9	7.5	7.7
BOD	25	20	4.8	0.1	1.0
SS	50	40	7.2	0.9	2.9
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.4	0	0.4
フッ素	8	6.4	0.2	0.2	0.2
亜鉛	5	4	0.02	0.02	0.02
溶解性鉄	10	8	0.5	0.2	0.4
溶解性マンガン	10	8	0.1	0.1	0.1
全りん	16(8)	6.4	4.9	1.8	3.4
全窒素	120(60)	48	1.5	1.4	1.5
大腸菌	3,000	2,400	0	0	0

伊勢崎工場:伊勢崎市下水道条例

項目	規制値 (下水道)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5.7~8.7	6~8.4	7.9	7.4	7.6
BOD	300	240	150	3.7	59.1
SS	300	240	43.4	4	21.5
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0	1.0	1.0
フッ素	8	6.4	1.9	0.2	0.9
亜鉛	5	4	1.3	0.0	0.4
溶解性鉄	10	8	0.1	0.1	0.1
溶解性マンガン	10	8	2.2	0.1	0.8
全りん	20	16	1.7	0.2	0.9
全窒素	150	120	13	4	6

【記号】…pH:水素イオン濃度、BOD:生物化学的酸素要求量、
SS:水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質

【単位】…大腸菌=個/ml、その他はpH除きmg/l、全りん・全窒素の規制値は日間平均値

■ 大気測定結果

測定結果は、すべて大気汚染防止法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

本工場:大気(大気汚染防止法)

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
ボイラー (5号、6号)	NOx	150	120	93	68
	SOx	60.3	48.2	0.22	0.18
	ばいじん	0.25	0.2	0.005	0.003
乾燥炉 (電着、中・上塗)	NOx	230	184	44	27
	ばいじん	0.2、0.3	0.16、0.24	0.003	0.002

【単位】NOx:ppm、SOx:m³N/h、ばいじん:g/m³N、
法規特定施設33機中、大型ボイラー、乾燥炉のデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は法規規制値をクリアしています。

矢島工場:大気(大気汚染防止法)

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
ボイラー (2号)	NOx	230	184	78	78
	SOx	62	50	0.5	0.5
	ばいじん	0.25	0.2	0.004	0.004
乾燥炉 (電着、中上塗、PP)	NOx	230	184	49	22
	ばいじん	0.2、0.35	0.16、0.28	0.002	0.001

【単位】NOx:ppm、SOx:m³N/h、ばいじん:g/m³N、
法規特定施設20機中、大型ボイラー、乾燥炉のデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は法規規制値をクリアしています。

大泉工場:大気(大気汚染防止法)

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
コーゼエ (1、2号ガス機関)	NOx	600	480	229	219
	ばいじん	0.05	0.04	0.001	0.0
アルミ溶解炉	NOx	180	144	75	65
	ばいじん	0.2	0.16	0.012	0.007

【単位】SOx:m³N/h、NOx:ppm、ばいじん:g/m³N、
法規特定施設12機中、溶解炉、大型ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設におきましても測定値は法規規制値をクリアしています。

その他
北工場に暖房機他3機、伊勢崎工場に小型ボイラー2機ありますが、いずれの測定値も自主基準値を順守しています。

■ 騒音・振動測定結果

測定結果は、すべて騒音・振動規正法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

騒音関係

[単位:dB(A)]

測定場所	規制値 (夜間)	自主 基準値	測定数	測定値
本工場	55	54	40	32~46
矢島工場	55	54	32	43~54
大泉工場	50	49	25	37~49
北工場	50	49	30	32~41

振動関係

[単位:dB(Z)]

測定場所	規制値 (夜間)	自主 基準値	測定数	測定値
本工場	65	64	40	0~21
矢島工場	65	64	28	13~22
大泉工場	60	59	25	12~26
北工場	60	59	31	5~20

■ 塗装施設などのVOC測定結果

合計15の施設すべてで測定を行っています。
測定結果はすべて自主基準値をクリアしています。

[単位] ppm-C

設備	規制値	最大値	平均値
塗装ブースなど	700	399	276
	400	160	96

■ PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

群馬製作所[本工場、矢島工場、大泉工場、北工場]

[単位:kg/年]

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
1	none	亜鉛の水溶性化合物	5,345		58	1,156	4,131		
16	141-43-5	2-アミノエタノール	1,043		84	318		642	0
30	25068-38-6	4,4'-インプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物	19,679			1,604	18,004	71	
40	100-41-4	エチルベンゼン	269,126	131,602			42,403	21,820	73,301
43	107-21-1	エチレングリコール	1,532,427				1,532,427		
63	1330-20-7	キシレン	550,640	251,487			192,366	45,304	61,483
224	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	27,554	19,561			146	3,602	4,245
227	108-88-3	トルエン	521,015	221,288			228,232	41,674	29,821
232	none	ニッケル化合物	1,238		56	935	248		
272	117-81-7	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	8,774			243	8,531		
299	71-43-2	ベンゼン	14,916	51			14,866		
311	none	マンガンおよびその化合物	4,276		71	1,337	2,868		
合計			2,956,034	623,990	268	5,594	2,044,221	113,112	168,850

群馬製作所[伊勢崎工場]

[単位:kg/年]

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
1	none	亜鉛の水溶性化合物	5,345		58	1,156	4,131		
63	1330-20-7	キシレン	2,138	60			2,078		
227	108-88-3	トルエン	2,485	6			2,480		
232	none	ニッケル化合物	1,238		56	935	248		
272	117-81-7	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	2,216			111	2,106		
311	none	マンガンおよびその化合物	4,276		71	1,337	2,868		
合計			17,699	66	184	3,539	13,910	0	0

スバル研究実験センター(栃木県佐野市)

[単位:kg/年]

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
63	1330-20-7	キシレン	25,144	34			25,110		
224	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,532	3			2,530		
227	108-88-3	トルエン	54,449	83			54,366		
299	71-43-2	ベンゼン	1,658	2			1,656		
合計			83,784	122	0	0	83,662	0	0

沿革

- 1917年 12月 飛行機研究所を群馬県太田町に移転
- 1934年 11月 太田新工場完成、旧太田工場は呑竜工場と改称
- 1945年 8月 中島飛行機(株)を富士産業(株)と改称
- 1953年 7月 富士重工業(株)設立
- 1955年 4月 太田北工場、伊勢崎工場開設
- 1958年 3月 軽四輪乗用車スバル360発表
- 1960年 10月 群馬製作所本工場開設
- 1964年 11月 群馬製作所テストコース完成
- 1969年 2月 矢島工場稼働開始
- 1983年 2月 大泉工場開設、本格稼働
- 1987年 5月 スバル研究実験センター起工式挙行
- 1999年 3月 群馬製作所としてISO14001認証取得
- 2001年 3月 群馬製作所ゼロエミッション達成
- 2010年 3月 富士重工業(株)としてISO14001統合認証を取得

■ 臭気関係測定結果

本工場7ヶ所、矢島工場7ヶ所、大泉工場4ヶ所、北工場4ヶ所、伊勢崎工場3ヶ所、計25ヶ所の敷地境界で測定を行っています。測定結果は、臭気濃度、臭気指数ともにすべて10未満で、規制値の21をクリアしています。

お問い合わせ先

群馬製作所 総務部総務課 TEL 0276-26-2011
FAX 0276-26-3020

富士重工業株式会社

2010 CSR

Site Report

宇都宮製作所

本工場(航空宇宙カンパニー)

所在地	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南町1-1-11
土地面積	337,457㎡
建物面積	176,895㎡
従業員数	1,900人
主な生産品目	航空機、無人機、宇宙関連機器

本工場、南工場、第二南工場の合計数です



本工場(エコテクノロジーカンパニー)

所在地	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南町1-1-11
土地面積	171,816㎡
建物面積	51,689㎡
従業員数	199人
主な生産品目	塵芥収集車、風力発電システム、ロボットなど

南工場(航空宇宙カンパニー)

所在地	〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田町1418
主な生産品目	航空機



第二南工場(航空宇宙カンパニー)

所在地	〒321-0131 栃木県宇都宮市宮の内2-810-4
主な生産品目	航空機



半田工場(航空宇宙カンパニー)

所在地	〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-27
土地面積	49,041㎡
建物面積	11,227㎡
従業員数	364人
主な生産品目	航空機



半田西工場(航空宇宙カンパニー)

所在地	〒475-0804 愛知県半田市上浜町102
土地面積	41,977㎡
建物面積	13,809㎡
従業員数	27人
主な生産品目	航空機



トップメッセージ



宇都宮製作所
所長

梅原 英資

私たちは、経営ビジョンのひとつとして「社会的責任を全うする企業」を掲げています。これは当社の長期ビジョンである「存在感と魅力ある企業」を実現するための基本事項であり、「すべてはお客さまのために」を基本方針に、環境への配慮、社会への貢献、コンプライアンスの向上などに積極的に取り組み、皆さまから信頼される企業を目指して持続的な社会発展へ貢献するとともに企業価値の向上を図ってまいります。

これらの実現のため、宇都宮製作所では、地球温暖化防止をはじめとする環境への取り組み強化を図ることと併せて、住宅地域と近接して工場があることから「地域に愛される企業」をスローガンに掲げ、コンプライアンスの徹底や交通マナーアップ、苦情への真摯な対応などに注力しています。また製造業の強みを活かし、子どもたちに科学や環境活動について理解を深める取り組みを継続していきます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

宇都宮製作所は、地域社会の一員として地域との共生を図り、ともに繁栄していくことを目指し、さまざまなコミュニケーション活動を推進しています。特に製造業の強みを活かし、子どもたちに科学や環境保全活動について理解を深める取り組みを長年にわたり実施しています。

■ 出前環境教室



年間を通じて、宇都宮市内の小学校に従業員が出向き、地球温暖化の仕組みについて説明や実験を実施、環境問題への理解を深める活動を行っています。2009年度は26クラス、756名の小学校5年生に対して実施しました。(累計で112クラス、3,362名)

■ 帝京大学「理工系進学体験イベント」



9月 帝京大学宇都宮キャンパスで行われた進学体験イベントに参加。当社は、飛行機が飛ぶ仕組みを翼の模型を使い、風をあてて浮かび上がらせる実験や、展示により、航空機材料の軽さを体験していただくなど、訪れた約650名の児童に楽しみとともに科学に興味を持っていただきました。

■ JAPAN CUP サイクルロードレースに協賛



毎年10月に宇都宮市が主催するアジア最高峰の自転車レース「JAPANCUP」に冠スポンサーとして1990年度より継続して協賛しており、国内外に自転車の街「宇都宮」を広くアピール支援しています。2009年度は過去最高の約67,000名の観客が県内外から集まりレースを楽しみました。

■ 企業体験バスツアー



3月 宇都宮市が企画する学生に「ものづくり」の楽しさに触れて、将来の進路検討に役立てていただくという工場見学・体験会を宇都宮製作所で実施しました。2009年度は高校生・大学生33名が参加し、飛行機の開発・製造の現場を見学し材料の軽さを体験しました。

■ 市民工場見学会



8月 製作所近隣の自治会92名の皆さまに参加いただき、製作所内でどういった製品をつくっているのか、どのような作業を行っているのかを理解いただくための工場見学会を実施しました。世界中を飛び回っている飛行機の多くに、当製作所でつくられた部品が使われていることに参加者からは驚きの声があがっていました。

■ 学童向け野球教室



1月 当社硬式野球部が地域の学童野球チームに技術向上などの指導をする野球教室を開催しました。今回で8回目を迎えた本教室は、すっかり地域にも定着しグラウンドに光る子どもたちの真剣な眼差しが、冬の恒例行事となっています。

交通安全・環境保全教育・啓発活動、その他

宇都宮製作所では、CSR活動推進のためにさまざまな機会をとらえて、従業員に対する交通安全や環境保全活動促進のための教育や、啓発のための取り組みを積極的に実施しています。

■ 交通安全教育(ナイトスクール)



3月 若年層を中心に夜間運転の教育を所内で実施しました。実際の車両を使い、昼間と夜間時の人やクルマの見え方の違いを体験するなど、夜間運転の危険性を学ぶことで交通安全意識の向上を図りました。

■ 地域の児童交通安全指導



従業員の交通マナー意識向上も兼ねて、通勤・通学時間帯に当所周辺の道路で交通安全指導を実施しました。製作所周辺は通学路が多いため、新入生が通い始める4月と、夏休み明けで緊張が緩む9月の2回実施しました。

■ 環境事例発表会



10月 自職場の環境影響を理解し、本来業務の改善を通して、環境負荷の低減、そして利益貢献につなげていこうという環境活動の事例発表会を開催しました。今回は6職場が発表、取り組みへの理解を進めました。

■ クリーンキャンペーン(環境月間行事)



6月 当製作所周辺のごみ分別収集作業にボランティアとして従業員440名が協力しました。自分たちの手で普段何気なく通勤などで使用している「生活道路」の環境を整え、環境活動を身近なものとしてとらえました。

■ モーダルシフト事業で「国土交通省海事局長表彰」受賞



11月 環境問題に配慮し、輸送量あたりのCO₂排出量を削減する取り組みとして「フジマイティー」の輸送において陸路での自走から海上輸送へのモーダルシフトを推進。CO₂削減に寄与したとして「国土交通省海事局長表彰」を受賞しました。



右: (株)スバルロジスティクス岡崎社長(受賞当時)
左: エコテクノロジーカンパニー 荒井プレジデント(受賞当時)

■ 毎年恒例の「緑の募金」活動



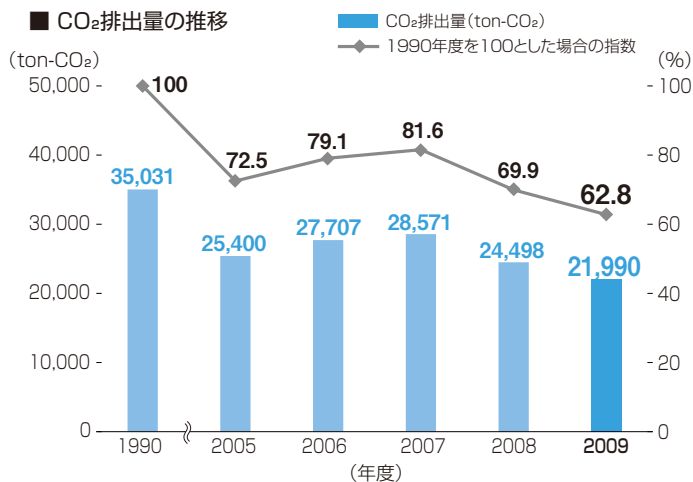
9月 栃木県・愛知県の緑化推進委員会に所内で働く人全員が協力した募金を寄付しました。本活動は2000年度より開始し、今年で10回目を迎えました。回を重ねるごとに製作所内における環境保護活動への関心が定着しています。(2009年度実績: 約330千円)

環境保全の取り組み

私たちは、自動車をはじめとする総合輸送機器メーカーとして、「地球環境問題への対応は経営における重要課題」と認識し、環境保全の取り組みを進めていきます。

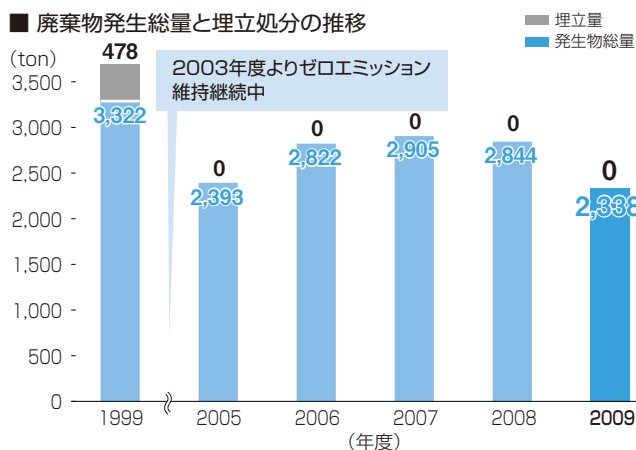
地球温暖化防止への取り組み

CO₂排出量は近3年、減少傾向で推移しています。また、1990年実績比では37.2%の削減を達成しています。今後もさらに、省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止へ寄与していきます。



ゼロエミッションへの取り組み

2003年に、ゼロエミッションを達成しています。今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に向け努力していきます。



公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。

しかしながら2009年度には、工場近隣にお住まいの方から騒音に関する苦情を2件受け、所内水路に廃液を流出させる構内環境事故が2件発生しました。本件に関する発生状況や是正処置などについては2010 CSRレポート45ページをご参照ください。

今後も、基準値超過を含めてゼロを目標に取り組んでいきます。

2009年度の環境関連測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁防止法および各地域ごとに適用される宇都宮市下水道条例、半田市公害防止協定に適合しており、20%上乗せした自主基準値※1もクリアしています。

※1 当社では大気・水質・騒音振動すべての測定結果について、法令基準値に20%上乗せした自主基準値を設定しています。

■ 水質測定結果

本工場:宇都宮市公共下水道

項目	規制値 (下水道)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.7	6.1	7.2
BOD	600	480	281	0.5	48.0
SS	600	480	246	1未満	36.5未満
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	3.5	1未満	1.5未満
フッ素	8	6.4	1.5	0.2未満	0.4未満
カドミウム	0.1	0.08	0.01	0.01未満	0.01未満
シアン	1	0.8	0.1	0.1未満	0.1未満
総クロム	2	1.6	0.5	0.01未満	0.05未満
六価クロム	0.1	0.08	0.02	0.02未満	0.02未満

南工場:宇都宮市公共下水道

項目	規制値 (下水道)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	8	6.8	7.3
BOD	600	480	92.9	7.6	31.9
SS	600	480	162	5.2	33.2
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.4	1未満	1未満
フッ素	8	6.4	0.2未満	0.2未満	0.2未満
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	1	0.8	0.01未満	0.01未満	0.01未満
総クロム	2	1.6	0.03	0.01未満	0.01未満
六価クロム	0.1	0.08	0.02	0.02未満	0.02未満

南第二工場:宇都宮市公共下水道

項目	規制値 (下水道)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	8	6.9	7.3
BOD	600	480	94.9	0.9	21.6
SS	600	480	126	1	23.6
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1未満	1未満	1未満
フッ素	8	6.4	2	0.2未満	0.3未満
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	1	0.8	0.01未満	0.01未満	0.01未満
総クロム	2	1.6	0.27	0.01未満	0.07未満
六価クロム	0.1	0.08	0.02	0.02未満	0.02未満

■ 大気測定結果

測定結果は、すべて大気汚染防止法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

本工場:大気(大気汚染防止法)

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
コージエネ	NOx	600	480	157	156
	ばいじん	230	184	60	56
乾燥炉	NOx	230	184	60	56
	ばいじん	0.2	0.16	0.001	0.001

【単位】 NOx:ppm、ばいじん:g/m³N、
法規特定施設9機中、コージエネと乾燥炉のデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

半田西工場:大気(愛知県条例)

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
2トンボイラー	SOx	1.5	1.2	0.01	0.01
	NOx	180	144	38	35
	ばいじん	0.1	0.08	0.002	0.002

【単位】 SOx:m³N/h、NOx:ppm、ばいじん:g/m³N、
法規特定施設5機中、ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

半田工場:水質汚濁防止法、愛知県条例

項目	規制値 (県条例)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	6.6	7.4
BOD	25	20	11	0.5	8.3
SS	25	20	21	1	5.1
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	0.5未満	0.5未満	0.5未満
COD	25	20	11	2.2	5.8
大腸菌群数	3,000	2,400	240	30	86.6

半田西工場:水質汚濁防止法、愛知県条例、半田市公害防止協定

項目	規制値 (協定値)	自主 基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	6.9	7.5
BOD	15	12	4.1	1	2.6
SS	15	12	8	1	4.3
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	2	1.6	0.5未満	0.5未満	0.5未満
フッ素	5	4	0.02未満	0.02未満	0.02未満
シアン	0.5	0.4	0.02未満	0.02未満	0.02未満
総クロム	0.2	0.16	0.04未満	0.04未満	0.04未満
六価クロム	0.3	0.24	0.04未満	0.04未満	0.04未満

【記号】…pH:水素イオン濃度、BOD:生物化学的酸素要求量、
SS:水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質
【単位】…大腸菌=個/ml、その他はpH除きmg/l、全りん:全窒素の規制値は日間平均値

■ 騒音・振動測定結果

測定結果は、すべて騒音・振動規正法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

騒音関係 [単位:dB(A)]				振動関係 [単位:dB(Z)]					
測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値	測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値
本工場	60	58	8	57	本工場	65	63	8	32
南工場	50	48	3	39	南工場	60	58	2	<30
南第二工場	50	48	3	47	南第二工場	60	58	3	<30
半田工場	65	63	3	44	半田工場	70	68	3	37
半田西工場	65	63	6	60	半田西工場	70	68	5	<30

■ PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

宇都宮製作所 [航空宇宙カンパニー] (本工場、南工場、南第二工場)

[単位:kg]

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
30	25068-38-6	4,4-イソプロピレンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物	2,033			813			
40	100-41-4	エチルベンゼン	531	79		22	430		
63	1330-20-7	キシレン	4,882	1,835		647	2,400		
227	108-88-3	トルエン	22,368	14,551		4,055	3,762		
69	none	六価クロム化合物	2,010		3	976	647	384	
311	none	マンガンおよびその化合物	1,375			550	825		
合計			33,199	16,465	3	7,063	9,284	384	0

*宇都宮製作所 [航空宇宙カンパニー] の、半田工場・半田西工場については1トン以上使用したPRTR対象物質はありませんでした。

宇都宮製作所 [エコテクノロジーカンパニー]

[単位:kg]

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
40	100-41-4	エチルベンゼン	7,897	4,847			1,919		1,131
63	1330-20-7	キシレン	22,433	13,922			5,451		3,060
227	108-88-3	トルエン	7,709	4,986			1,873		850
合計			38,039	23,755	0	0	9,243	0	5,041

沿革

- 1953年 7月 富士重工業(株)設立
- 1958年 1月 T-1 中等練習機、初飛行に成功
- 1962年 3月 ロードパッカー(塵芥収集車・現フジマイティ)の生産開始
- 1963年 8月 UH-1B タービンヘリコプターを防衛庁に納入
- 1965年 8月 国産軽飛行機FA-200(エアロスバル)初飛行
- 1978年 T-3 初等練習機を防衛庁に納入
- 1984年 対戦車ヘリコプター AH-1Sを防衛庁に納入
- 1988年 T-5 初等練習機を防衛庁に納入
- 1992年 12月 ボーイング777組立工場(半田工場)稼働開始
- 1993年 UH-1Jヘリコプターを防衛庁に納入
- 1999年 7月 宇都宮製作所としてISO14001認証を取得
- 2000年 11月 フジマイティ LPO型発売
- 2002年 3月 宇都宮製作所ゼロエミッション達成
- 6月 カンパニー制度導入
- 航空宇宙カンパニーとエコテクノロジーカンパニー設立
- 7月 T-7 新初等練習機初飛行および防衛庁に納入
- 2005年 9月 次期輸送機・固定翼哨戒機の主翼を納入
- 12月 茨城県神栖市に大型風力発電試作機建設
- 2006年 3月 AH-64D ヘリコプターの初飛行および防衛庁に納入
- 2007年 1月 ボーイング787の中央翼を初出荷
- 2010年 3月 富士重工業(株)としてISO14001統合認証を取得



[2010年3月31日現在]



お問い合わせ先

宇都宮製作所 総務部 TEL 028-684-7777
FAX 028-684-7778